

第3号様式

令和5年度 第5回西部公民館運営審議会 会議録

- 1 開催日時 令和6年3月21日（木曜日） 午後2時から3時
- 2 開催場所 船橋市西部公民館 2階 第1・2集会室
- 3 出席者
 - (1) 委員 宍戸委員長、坂本副委員長、牛山委員、坪木委員、中西委員、村尾委員、矢澤委員、渡部委員
 - (2) 事務局 西部公民館長、法典公民館長、丸山公民館長、塚田公民館長、葛飾公民館長、西部公民館長補佐、西部公民館事業担当者
- 4 欠席者 なし
- 5 議 題
 - 【公 開】
 - (1) 各公民館の事業報告（12月21日から3月31日）
 - (2) 令和6年度各公民館の事業計画
 - 【非公開】
 - (3) 社会教育関係団体登録申請について
※非公開理由：船橋市情報公開条例第7条第2号の不開示情報（個人に関する情報）を審議することから、同条例26条第2号に該当するため
- 6 傍聴者 なし
- 7 決定事項
 - (1) 各公民館の事業報告（12月21日から3月31日）を承認
 - (2) 令和6年度各公民館の事業計画を承認
 - (3) 社会教育関係団体登録申請について承認
- 8 議 事 次頁より
- 9 次回は令和6年5月2日（木曜日）午後3時から
中央公民館 第6・7集会室にて開催予定
- 10 問い合わせ先 船橋市西部公民館 Tel:047-333-5415

開会

○事務局（西部公民館長補佐）

こんにちは。本日はお忙しい中お集まりいただき、誠にありがとうございます。

開会に先立ちまして、配付資料の確認をさせていただきます。

まず、机の上にお配りしてある資料は、会議次第、席次表、それから「社会教育関係団体登録申請書」がございます。社会教育課のほうから、「船橋の社会教育：令和4年度のあゆみ」という冊子と「まなびの風」が各委員に配付されております。また、西部の各公民館が直近に発行しました館報もお配りしておりますので、後ほどご覧ください。

次に、事前にお送りしております資料の事業報告と令和6年度事業計画、様式4と様式5の2点があります。また、個人情報抜いた「社会教育関係団体登録申請書」もあるかと思えます。

不足はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、ただいまから令和5年度第5回西部公民館運営審議会を開会します。

議事に入ります前に、定足数についてご報告いたします。本日は委員8名が全て出席されておりますので、半数以上の出席ということで、船橋市公民館条例施行規則第15条第3項の規定により、この会議は成立します。

また、船橋市情報公開条例第26条の規定により、船橋市の設置する附属機関の会議は原則として公開とされておりますことから、本日の審議会について傍聴人の受付を行ったところ、本日、傍聴人はおりませんのでご報告いたします。

それでは、これよりは、船橋市公民館条例施行規則第15条第2項の規定により、委員長に議長となつていただき、議事を進めてまいります。委員長、よろしく願いいたします。

○宍戸委員長

皆様、こんにちは。お忙しいところ、また風の強いところお集まりいただきまして、ありがとうございます。

それでは、ただいまから会議に入りますので、よろしく願いいたします。

まず、審議に入ります前に、議事録署名人を指名させていただきます。矢澤委員さんをお願いしたいのですが、よろしいでしょうか。

（矢澤委員 了承）

○宍戸委員長

では、よろしく願いいたします。

それでは、審議に入ります。議事（1）各公民館の事業報告を、西部公民館から順次お願いいたします。

○西部公民館長

それでは、12月21日から3月31日までの期間の西部公民館の事業報告を抜粋し

て説明いたします。お手元の資料で1ページから5ページをご覧ください。

初めに、青少年事業ですが、1ページの上から「ふなばしハッピーサタデー事業」と「こどもフェスティバル」の2事業を実施しました。このうち、3月2日（土）のこどもフェスティバルは、参加者2,833人が集う盛大なイベントとなりました。今年初の試みとしてスタンプラリーを導入し、ステージや遊びコーナーなど全館をくまなく回って体験していただけるよう工夫したところ、約300人がラリーに参加し、スタンプを集めて楽しそうに景品を選ぶ子供たちの姿が見られました。

次に、成人事業です。1ページの一番下から2ページにかけて、全部で4件の事業を実施しました。1件目の「船橋の宝～北斎・広重が描いた房総の浮世絵～」は、西部公民館では初めて行った新規の事業でした。船橋市生涯学習コーディネーター連絡協議会西部ブロックの皆さんの企画立案により、元船橋市生涯学習部長で、現在は四街道市史編纂委員長の須藤元夫氏を講師に招き、船橋市立西図書館が所蔵する多くの貴重な浮世絵をデジタル画像で見ながら、浮世絵の知識を学びました。

1つ飛ばして2ページの上から2つ目、「令和5年度西部地区公民館合同事業～多文化共生イベント 中国料理講座～」を開催しました。中国出身の船橋市国際交流員劉林さんを講師に招き、中国料理の実習と文化紹介を2回コースで行い、多文化への理解を深めました。

続いて、その下です。前回12月21日の運営審議会でご審議いただきました「市民の力活用事業」を、計画どおり3月4日に実施しました。船橋市地域文庫連絡会からご提案いただいた企画で、児童図書相談士の神保和子氏を講師に迎え、「絵本ってなあに？～子どもと読書とAIと～」と題した90分の講演を通して、子どもの成長における絵本や読み聞かせの大切さを多くの参加者に伝えることができ、当初の目的を達成しました。

続いて、高齢者事業です。2ページの一番下から3ページにかけて3件の事業を実施しました。このうち、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」の3月27日は未来日ですので、現時点では参加者数が空欄のままです。こちらは後日ホームページに資料を公開する時点までには記載できる予定ですので、ご了承ください。

続いて、その他事業です。3ページの一番下から5ページまで、全部で7件の事業を実施しました。このうち抜粋して2件ご説明いたします。

初めに、5ページの一番上、「ベトナムのお正月」です。こちらは、西部公民館で今回初めて取り組んだ新規事業でした。1月28日（日）、ベトナム出身の船橋市国際交流員グエン・ティ・チャー氏を講師に招き、ベトナムのお正月行事を紹介・体験する多文化共生イベントを開催しました。チャー氏によるお正月文化紹介、お正月の歌を歌おう講座のほか、ベトナム人ボランティアによる民族衣装のアオザイショー、ベトナムの歌や踊りのショー、伝統的なゲームやお正月飾りづくりなどの体験コーナー、ベトナムの食べ物や民芸品の模擬店など、大変盛りだくさんな内容で、午前・午後を通して参加し、一日中楽しんでいただいた方が多くいらっしゃいました。日本人

にとってはベトナムのお正月文化を知り、ジェスチャーも交えながら外国人と交流するよい体験の機会になったと同時に、地域で生活しているベトナム人にとっても、日本にしながら懐かしい祖国のお正月の気分を味わえる貴重な機会となり、また、身近な公民館を外国人に知っていただき、初めて足を運んで地域に親しんでいただけるきっかけづくりにもなりました。

続いて、5ページの中段、「地域ふれあいコンサート」です。地域ふれあいコンサートは、ふなばし音楽フェスティバルの一環として身近な施設で気軽に音楽の生演奏を楽しんでいただくための取組として毎年市内全域の公民館等において展開しており、今年度は15か所で開催されました。このうち西部ブロックでは2月に法典・丸山・葛飾、3月に西部と、4館で実施しました。今年の西部公民館は、「アラビアンナイト～中東の琴で奏でる煌びやかな旋律～」と題し、カーヌーン・マリンバ奏者の鈴木未知子氏とパーカッション奏者の松本ちはや氏を演者に招き、コーヒールンバやアラジンメドレーなど、迫力あるエキゾチックな生演奏を楽しみました。身近な公民館で地域の皆さんにプロの演奏家による上質な音楽の鑑賞機会を提供し、音楽文化の裾野を広げられるよう今後も取り組んでまいります。

最後に、人数が空欄のところをご報告します。4ページの下から2つ目、「おもちゃの病院」の3月16日の参加者数は14人でした。

西部公民館からの事業報告の説明は以上でございます。よろしくお願いたします。

○宍戸委員長

ありがとうございます。

続きまして、法典公民館ですか。お願いたします。

○法典公民館長

それでは法典公民館、12月21日から3月31日までの事業報告を行います。

まず、青少年対象事業です。「絵本の読み聞かせ」は、資料のとおり行いました。

続きまして、「ふなばしハッピーサタデー事業」です。こちらは3月16日の参加者数を報告いたします。3月16日（土）の「こどもわくわく広場」、32名です。今年度はハッピーサタデーのこどもまつりを9月に時期を変えて開催いたしました。多くの地域団体と協働して大変好評でした。

続きまして、「オンライン科学館」です。こちら資料のとおり開催いたしました。参加者数は5人で、去年は3名でしたので微増という感じです。

続きまして、成人対象事業です。7ページ一番上の「法典小学校家庭教育セミナー」全3回を、資料のとおり法典小学校父母と教師の会との共催で予定どおり開催することができました。

続きまして、高齢者対象事業になります。

まず、「法典寿大学」です。こちらは3月14日の参加者数を報告いたします。3月14日（木）の閉講式・講談は、64名です。今年度は、定員100名に対しまして登録者が107名おりました。平均出席者は45.2名です。

続きまして、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」です。こちらは、健康づくり課との共催事業で、資料のとおり実施いたしました。3月18日の参加者数を報告いたします。3月18日（月）のふなばしシルバーリハビリ体操は、44名です。昨年度は隔月開催でしたが、今年度は毎月開催いたしました。夏までは25人程度の参加者でしたが、徐々に増えていって、最後の3回はこの資料に出ているとおり36、39、44と増えていきまして、これもやはり毎月開催することによって生活の中に取り入れやすい、リズムがつくりやすいということで、続けて毎月やることは大切なのではないかなと感じました。

次ページに参ります。その他対象事業になります。

「親子クリスマスコンサート」、「子育て支援事業（ぼんぽこ広場）」、こちらは資料のとおりです。

続きまして、2月11日の「救急フェア」です。こちらは地元の町会と公民館、危機管理課がそれぞれの持ち味を出し合って実施することができました。来年度は起震車のほうも予定しております。

次に、「第41回公民館利用協まつり」です。こちらは好天に恵まれて、両日ともに1,000人以上の参加がありました。

続きまして、2月17日の「ふなばし音楽フェスティバル～地域ふれあいコンサート～」です。こちら第41回公民館利用協まつりの一部として開催いたしました。こちらは150人定員を予定しておりましたが、ただし、こういう無料のコンサートというのは、申し込むだけ申し込んで、来ない人が多いんです。今回それを見越して、参加率80%に設定して180人まで受けました。ところが、それを上回って154人が参加。無料のコンサートで85%の出席率というのは異例の高さなので、よっぽど地域の人たちが楽しみにしていた内容だったのかなと思いました。アンケートの結果も大変よくて、皆さん楽しんでいただけたと思います。

続きまして、「いらっしゃーい！法典公民館」です。こちら資料のとおり行いました。これも利用協まつりの一部で行いました。既存の団体で、今は人が減ってしまったところ多くて、そのPRにさせていただきました。今後も既存団体の支援の一環として、いろんなやり方を考えて工夫しながら続けていきたいと思っています。

10ページ目に参ります。3月3日に「市民の力活用事業」、eスポーツイベント『「はちみつCUP」で遊ぼう！』を実施いたしました。こちらの内容は資料のとおりです。ふだん公民館では、こういうパソコンをいっぱいそろえたり、専門的な内容のことは難しいので、こういうのを市民と一緒に協働して実施していけたらなと思います。

最後に、館報の発行です。今回は利用協まつり特集号として発行いたしました。お手元に配ってあると思いますが、B4の2つ折り両面印刷、薄クリーム色のものになります。

以上でございます。

○宍戸委員長

ありがとうございました。

続きまして、丸山公民館、お願いいたします。

○丸山公民館長

丸山公民館の事業報告をさせていただきます。

まず、青少年対象事業です。「ハッピーサタデー事業」、日程、内容、参加者数等は資料のとおりです。スポーツ雪合戦やドッチビーなどのゲーム、工作や料理などは参加者数が多いのですが、学習になりますとちょっと参加が少ないような傾向にあるようです。環境に関することなど大事な内容もありますので、来年度はさらにやり方を工夫して実施していきたいと思っております。

続いて、「まるやまおはなし会」は、日程、内容、参加者数等は資料のとおりです。3月16日の回ですが、参加者数は6名でした。追加記入をお願いいたします。こちらは小学生の参加もできるのですが、内容は就学前の小さいお子さん向けとなっていることから、ちょっと参加者数は少ないのですが、親子で楽しめる貴重な場となっており、定期的に参加してくれている親子もいらっしゃいますので、今後も周知方法などを工夫して実施していきたいと思っております。

続いて、「第39回子どものつどい」ですが、町会・自治会、PTAなどで組織する子どものつどい実行委員会と共催で3月3日に実施いたしました。今年度は新型コロナウイルス感染症による制限もなく、模擬店の出店も例年どおり行うことができました。また、子ども餅つき体験など新しい企画も実施し、大勢の子供たちが来場し楽しんでいました。運営のほうは実行委員会が主体的に行い、各コーナーにはお手伝いの子供たちも参加してもらっており、地域が連携し、交流を深める場となりました。

次ページに行きます。成人対象事業です。「新春まるやま落語会」ですが、日程、参加者数等、資料のとおりです。今回は新型コロナウイルス感染症の制限もないため、定員を150名で募集したところ、受付開始30分で定員となりました。当日は欠席も少なく、改めてイベントへの関心の高さがうかがえました。引き続き、心豊かに潤いのある生活が送れるよう、伝統芸能や文化芸術に触れる機会を提供し、関心を高める事業を実施してまいりたいと思えます。

続いて、「スパイスのある暮らし」ですが、カレー作りを通じて、多文化共生を考えるきっかけとしてもらうことを目的に実施いたしました。日程、参加者数等、資料のとおりです。多くのスパイスの解説があり、いろいろな調理の仕方を学び、インドの食文化に触れることができました。

次に、高齢者対象事業になります。

まず、「さわやか学級」ですが、日程、内容、参加者数等は資料のとおりです。3月15日の参加者数ですが97人でした。追加記入をお願いいたします。この「まるやまさわやか学級」ですが、企画・運営を地域の有志で組織するさわやか学級運営委員会が行う市民協働の形で実施しております。このため、内容も高齢者のニーズに合ったものが実施できていると考えております。引き続き、高齢者の生活が豊かになるよ

うな教養講座や安らぎのひとつになるような企画を、さわやか学級運営委員会と協力しながら実施してまいります。

続いて、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」ですが、日程、参加者数等は資料のとおりです。昨年度はコロナの影響か参加者が少なかったのですが、今年度は大分回復してきて、直近3か月は定員に達するか定員に近い参加者がありました。地域の高齢者の健康維持・増進のために、引き続き実施してまいりたいと思います。

続いて、「みんなの情報モラル講座」ですが、日程、参加者数等は資料のとおりです。情報モラルという言葉がイメージしにくく、参加者数が少なかったと思います。講座名も工夫が必要だと反省いたしました。ただ、参加者からは「知りたいと思っていたことが分かってよかった」「内容は難しかったが、怖さも知った上でスマホを使っていきたい」との声をいただいております。内容はよかったなと思っております。

次に、その他事業になります。「フルーツ・ファゴット・パーカッションがつくりだす不思議な音楽世界」ですが、日程、参加者数は資料のとおりです。地域ふれあいコンサートの一環で行ったもので、多くの方にご来館いただき、改めて音楽・文化芸術への関心の高さがうかがえました。当日はフルーツのほかにファゴットや各種打楽器の解説、演奏曲の解説があり、また演奏に合わせてみんなで一緒に歌ったり、パーカッションのリズムに合わせて体操のように手足を鳴らしたり動かしたりする演出もありまして、参加者の方にとっても喜んでいただけました。

次ページに参ります。「丸山公民館巡回児童ホーム」ですが、内容、参加者数等は資料のとおりです。0・1・2歳が対象の「ぼかぼか広場」は、自由に遊べる時間を設けつつ、触れ合い遊びや体操、絵本の読み聞かせなど、親子が一緒に楽しめる内容で実施。「ここなら安心して遊べる」との声をいただいております。「小学生わくわくタイム」は、毎回異なる工作を用意し、何度参加しても楽しめるよう工夫を凝らしています。子供同士や保護者の皆様のコミュニケーションの場ともなっており、今後も引き続き実施してまいりたいと思います。

続いて、「出張子育て支援センター」ですが、日程、参加者数等は資料のとおりです。こちらは和室で実施しております。子供が動き回ることができ、親も専門のアドバイスを受けることができると参加者からは好評でした。

続いて、「サークル活動内容等の紹介」ですが、展示内容、展示団体は資料のとおりです。3月の写真展示は、公民館の外壁工事の関係で展示場所の壁を塗装しておりまして、そのために中止となりました。こちらは高齢化によるところが大きいと思いますが、サークルの解散が増えています。また、地域のボランティア団体も若い方の新規加入がないとの声も聞いております。サークル活動やボランティア団体の活動を紹介することで、少しでもサークル活動やボランティア活動に興味・関心を持ってもらい、参加のきっかけとなるよう、様々な場面・機会を利用して活動を紹介していこうと考えています。展示につきましても、その一つの手段であると思っておりますので、引き続き実施してまいりたいと思います。評価の3行目、「少しでも最近やボランティ

ア活動」の「最近」ですが、「サークル活動」の誤りでございます。訂正させていただきます。

最後に、館報の発行ですが、資料のとおり発行、地区に配布いたしました。内容は公民館の事業のご案内とサークルの紹介等です。引き続き写真や書体などを工夫しまして、内容が伝わりやすい紙面作りを心がけ、公民館の活動を発信していきたいと思っております。

丸山公民館は以上でございます。

○宍戸委員長

ありがとうございました。

続きまして、塚田公民館、お願いいたします。

○塚田公民館長

塚田公民館の12月21日から3月31日までの事業報告をご説明いたします。

初めに青少年事業で、「ふなばしハッピーサタデー事業」は、全11回中、9～11回目を資料のとおり開催いたしました。11回目は3月23日(土)に開催いたします。1年生から5年生は午前中に春色クッキーを、6年生は午後に卒業記念としていちご大福をつくります。当初の予定では午前中も和菓子でみたらし団子をつくる予定でしたが、うずらの卵をのどに詰まらせた事件があり、急遽変更いたしました。

2月17日(土)のこどもまつりは、本日お配りした館報をご覧ください。出演・出展には日本大学理工学部の鉄道研究会や千葉大学ジャグリングサークル、風船マン、似顔絵師、こども食堂、キッチンカーなど様々な地域の団体に協力をいただき、乳幼児親子から大人まで、たくさんの方に楽しんでいただくことができました。また、10月の文化祭と同様に行田中学校の生徒にボランティアで来ていただき、準備から各コーナーでの手伝い、そして、後片づけと最後まで活躍していただきました。天候にも恵まれ、延べで3,560人の参加をいただきました。

続きまして、成人事業、「まなぼう教室『江戸東京が燃えた日～関東大震災100年』」は、全2回を生涯学習コーディネーターと共催により開催。座学と資料館等の見学をし、今後災害が起きたときのことを考える契機となりました。参加者数は表のとおりです。

次のページ、「手作りワークショップ 味噌作り」は、廣瀬夏子氏を講師に、手前味噌作りを実施しました。本来は手間と時間をかけて行うものを、講師の下準備もあり、2時間で完結できる講座となりました。出来上がったものは半年ほど寝かすため、完成が楽しみです。参加者数は表のとおりです。

次に、「スマホの基本とキャッシュレス(手話付き)」は、ソフトバンク株式会社を講師にスマホの基本操作やキャッシュレス決済について、貸出用端末で体験をしました。11人もの参加がありましたが、手話通訳が必要な方からの申し込みはありませんでした。引き続き、申し込み方法を検討し、共生社会の一環として実施していく予定です。

次に、「リカレント講座 今、再びの楽しい地理・歴史」は、全2回を開催。鎌倉時代を中心に過去に学習した地理・歴史に加え、今現地に訪れたら役立つ豆知識を盛り込み、過去に学んだことと現在の楽しみを結びつけ、学び直す面白さを体験する一助となりました。前回の運営審議会の際に、講師の肩書を日本旅行地理コーディネーターと紹介していましたが、仏像研究者として訂正をいたします。参加者数は表のとおりです。

次に、「防災関連講座」は、旭町町会と共催により開催しました。塚田公民館管区の単一町会、旭町町会より、地域防災の強化についての相談から実現した講座です。自助・共助を中心に講話をし、公民館に配備されている防災備蓄品を並べて手に取って見てもらい、プライベート空間が保てる紙管パーテーションを組み立ててもらいました。ふだんからの備えが必要であることを考えてもらう機会にすることができました。参加者数は表のとおりです。

次のページ、「まちなか散歩」は、自然観察指導員の平栗先生と小石川植物園を施設の移ろいを感じながら歩きました。小雨が降るような天候でしたが、全員無事に歩くことができました。参加者数は資料のとおりです。

次に、「花めぐりウォーキング」は、船橋市スポーツと健康を推進する会西部コミュニティとの共催により、3月24日（日）に身近な自然を訪ね歩きます。

続きまして、高齢者事業です。「塚田寿大学」、「塚田元気クラブ」、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」、そして、その他事業の「こどもおはなし会」、「卓球台開放」、「子育て支援 ひよこ広場」までは定例事業のため、説明を割愛させていただきます。

20ページに移っていきます。「学者連携事業 生（いのち）と性の健康講座」は、行田東小学校と共催により開催、小学6年生とその保護者を対象に千葉県助産師会の方を講師に迎え、生（いのち）と性について講話いただきました。参加者数は表のとおりです。

次に、「市民の力活用事業『からすのパンやさんの人形劇をみよう！！』」は、3月27日（水）に事業提案者でもあるMあんどBと開催。地域の4小学校と2つの幼稚園にチラシ等を配布し、当日自由参加で実施をいたします。委員の皆様も機会がありましたらご参加のほどお願いいたします。

最後に、「館報つかだの発行」は、表のとおりです。

塚田公民館からは以上です。

○宍戸委員長

ありがとうございました。

続きまして、葛飾公民館、お願いいたします。

○葛飾公民館長

葛飾公民館の事業報告について、参加者数の抜けているところと、主な事業の説明をさせていただきます。

まず、青少年対象の「ふなばしハッピーサタデー事業」、こちらは後ほど子どもまつりと併せてご報告いたします。

2番目の「子どもまつりボランティア講座」、こちらは小学生の参加申し込みは5名でしたが、子どもまつり当日は地域の中学生や高校生にもご協力をいただき、参加者10名と報告をさせていただきます。次回も参加したいというような声もいただいております。ボランティアの楽しさややりがいなどを体験していただけたのではないかと考えております。

次の「第29回子どもまつり」は、4年ぶりの開催となりましたが、地域の各団体主体で構成された子どもまつり実行委員会の多大なご協力により、盛況に終わることができました。反省点等を洗い出し、次回に生かしていきたいと考えております。

次のページに参ります。成人対象事業です。「おもしろ雑学講座 防災視点で街歩き いざという時、あなたは何ができる?」、こちらは全2回の講座を行いました。1回目の講座では、講師のほかに危機管理課の職員に能登半島地震の際の避難所運営等についてのお話をさせていただくことができました。また、葛飾小学校の防災倉庫の見学もさせていただいたり、タイムリーな内容での実施をすることができました。

続きまして、「新春!切絵講座」及び「文学講座 紫式部の生涯」は、記載のとおり実施いたしました。特に、文学講座はすぐに定員に達してしまう人気の講座でした。

次の「今日から始める手話~聞こえないってどんなこと?~」は、船橋市聴覚障害者協会の方を講師に迎え、また、福祉サービス公社に手話通訳を依頼しまして、明後日の23日(土)に実施をする予定です。現在申し込みは10名でございまして、参加者の苗字の漢字を前もって伺い、講師に情報提供をしております。当日は自分の名前を手話で表すというようなことも予定をしております。

下段から次のページにかけての高齢者対象事業、「かつしか寿大学」、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」は、記載のとおり実施をいたしました。寿大学の3月19日の参加者数のご記入をお願いします。99名でございました。通常の寿大学の方は40名、公開講座による一般の方のお申し込みが59名という内容でございました。

その他の事業に参ります。「親子プログラミング」は、定員を超える申し込みがあったため、参加者抽選とさせていただきます。子供たちのプログラミングに対する理解力がとても高く、講師も感心しているほどでございました。

次の「子育て支援事業『すまいる広場』」は、毎回参加者が不安定であり、懸念の種であることから、募集方法などを検討し、安定的にご参加いただけるよう改善が必要であると考えております。

次のページに参りまして、「葛の葉らいぶ」、「館報の発行」及び「福祉のまちづくり支援事業 ちびっこ広場」につきましては、記載のとおり実施いたしました。ちびっこ広場の3月18日の参加者数、一番最後のページになります。27名のご参加をいただきました。

葛飾公民館の事業報告は以上でございます。

○宍戸委員長

ありがとうございました。

少しお時間をいただきますか、よろしいですか。

それでは、ただいまの5館の事業につきまして、ご質問、ご意見がございましたら、お願いいたします。どうぞ。

○牛山委員

人数の空欄のところ、私が聞き逃しただけかもしれないですけども、塚田公民館さんの20/26、「卓球台開放」の3月21日。

○塚田公民館長

本日なので、すみません。

○牛山委員

本日なんですね。ごめんなさい。

あと、葛飾公民館さんの23/26、成人の部の「おもしろ雑学講座」、3月16日の「助かる・助け合うための備えを考えよう」の参加者を教えていただいていたいいですか。

○葛飾公民館長

人数18名です。失礼しました。

○牛山委員

ありがとうございます。

○宍戸委員長

いかがでしょうか。

どうぞ。

○坂本副委員長

西部公民館の「ベトナムのお正月」に参加させていただいたのですが、ベトナムの方たちが、お正月にみんなが帰れるわけではないので、そこに集まって、ベトナムの方たちがベトナム語ですごくお話ししていたのがよかったなと思うのですけれども、私たち市民がもうちょっと参加していると、お互いに交流できたかなという気がしました。申し込んでいる人がいたけれども、ちょっと少なかったとおっしゃっていました。見るだけではなくて私たちからも交流ができると、今はスーパーとかいろんなところでベトナムとかネパールの方とか働いていらっしゃるの、そういう人たちと交流できるとこれからはいいのではないかなと思いました。

○西部公民館長

ありがとうございます。

○宍戸委員長

あとはどうでしょうか。よろしいですか。

ほかにご質問がなければ、各公民館からの事業報告については承認するものとしてよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○宍戸委員長

それでは、承認といたします。

次に、議事（２）令和６年度各公民館の事業計画を、西部公民館からまとめて説明をお願いいたします。

○西部公民館長

西部ブロック５館の令和６年度年間事業計画について、簡単にご説明いたします。お手元の資料で、左上に様式４、様式５と書いてあるものをホチキス留めになっているものが５館分あります。そちらをご覧ください。

様式４につきましてはＡ４判ののですが、各館が地域の状況、課題、重点目標をまとめたものでございます。その後ろにホチキス留めになっておりますＡ３判の様式５ですが、こちらは様式４でまとめた地域の特性を踏まえ、かつ、第三次船橋市生涯学習基本構想・推進計画（ふなばし一番星プラン）の方針に基づいて、各館が作成した令和６年度の年間事業計画一覧となっております。番号に丸がついているものは新規の事業企画を表します。

具体的な事業の時期や内容については、これから一つ一つ講師との調整を進めていく中で徐々に固めてまいりますので、現時点で計画一覧に掲げていても、結果的に変更や取り下げとなり得る事業や、逆に追加となり得る事業もございます。不確定な事業も多いため、今この場では各館ごとの一覧の詳細説明は割愛させていただきますが、新年度に入りましてから改めて時期ごとに運営審議会で事業計画をご説明し、都度ご審議をいただいておりますので、よろしくをお願いいたします。

簡単ですが、令和６年度事業計画の説明は以上でございます。

○宍戸委員長

５館分まとめての説明ということで、よろしいでしょうか。

○西部公民館長

５館分まとめて様式４と様式５の内容を事前にお配りしていたとおりでございます。この内容について詳細に一つ一つは今この場で読み上げてはまいりませんけれども、何かお気づきの点、気になるところがございましたら、逆にご質問いただければ、各館のほうでその部分にお答えさせていただけたらと思いますが、いかがでしょうか。

○宍戸委員長

ありがとうございます。

少しお時間取りますので、ご覧いただきたいと思います。

（各委員、資料黙読）

○宍戸委員長

よろしいでしょうか。

それでは、この令和６年度の事業計画につきまして、ご質問、ご意見ございますか。

特別ご質問等がなければ、各公民館の令和６年度事業計画については、承認するも

のとしてよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○宍戸委員長

ここからは、非公開の審議事項となります。

議事3については船橋情報公開条例第7条第2号の不開示情報を審議することから、同条例第26条第2号に該当しますので、会議を非公開といたします。

以下、船橋市情報公開条例第26条第2号に該当するため、非公開とする。

○宍戸委員長

ありがとうございます。

以上で議案の審議は全て終わりました。

委員及び理事者の皆様には、ご協力ありがとうございました。

令和5年度の西部公民館運営審議会は本日が最終ということで、皆様、1年間お疲れさまでございました。毎回円滑な会議進行にご協力いただき、誠にありがとうございました。

また、委員の任期も1期2年間ということで、間もなく令和6年4月26日をもって満了となります。退任される方、次期も継続される方、それぞれいらっしゃると思いますが、このメンバーで集まるのは今日が最後となりますので、皆様から一言ずつご挨拶をいただけたらと思います。

それでは、早速ですが、坂本副委員長から順番にお願いいたします。

○坂本副委員長

座ったままで失礼します。

私は2016年から審議委員にならせていただきまして、ちょうど2023年度で7年間させていただきました。今日でお別れというか最後にしてまた新しい人に、こういう会があるんだよということでしたらほしいと思います。皆さん、今日できょうならということで、お世話になりました。ありがとうございました。

○宍戸委員長

ありがとうございました。

では、中西さん。

○中西委員

中西敬子です。法典公民館からお世話になってこちらに。私、何年かちょっと分からないんです。すみません。宍戸委員長には本当にずっとお世話になりっぱなしで、ありがとうございます。6年度、またお世話になります。どうぞよろしく願いいたします。

○宍戸委員長

ありがとうございました。

牛山さん、お願いいたします。

○牛山委員

座ったままで失礼いたします。

塚田公民館のほうからこちらに伺っております牛山和枝と申します。本当にこの2年間、いろいろありがとうございました。委員長、本当にお疲れさまでございました。

来年度も引き続きやらせていただきますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

○宍戸委員長

ありがとうございました。

続きまして、矢澤委員お願いいたします。

○矢澤委員

私、丸山公民館から参っています矢澤と申します。何も分からず2年間お世話になりましたので、これで辞めようと思います。また、機会がありましたら、皆さんよろしくお願いいたします。失礼します。

○宍戸委員長

どうぞ、渡部委員お願いいたします。

○渡部委員

法田中学校校長の渡部と申します。2年間、お世話になりました。あまりご意見を言うことができず、申し訳なかったですが、ありがとうございました。

この地区の審議会は小学校長会と中学校長会で2年ごと1期ずつ交代でやっております。来年度からは小学校長会のほうから1人来ると思いますので、よろしく願いします。

私自身、実は若宮1丁目で、この公民館の脇を上がって行った先に自宅がありまして、家内や息子が小さいときは西部公民館の土日の陶芸教室とかに来ていたり、自分も興味があつていろいろと西部公民館を見ているのですが、土日はやっぱり部活の応援等でなかなか参加することができませんでした。近くに住んでいますので、仕事がなくなったときにはぜひ公民館事業に参加したいなと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

○宍戸委員長

ありがとうございました。

次、坪木委員お願いいたします。

○坪木委員

西部公民館から来ております坪木です。2年間いろいろ参加させていただきましたが、別の組織の西部ブロックとか、そういう形で見えておまして、こちらの公民館から見た地域、西部から始まって各公民館の報告を聞いておりますけれども、私の所属している自連協のほうも公民館利用について今いろいろ意見を聞いています。各地区いろいろ意見があつて、参加できていないとか、あるいは、よく利用して参加してい

るよという意見も聞いております。その辺も踏まえて、公民館がよりよく活用されてよくなればと思っております。

来年は辞めたかったのですが辞めさせてもらえないので、一応このまま継続ということになると思いますけれども、よろしく申し上げます。

○宍戸委員長

ありがとうございました。村尾さん、お願いいたします。

○村尾委員

西部公民館から来ております村尾恵子です。2年間お世話になりました。

私も公民館はすぐ近い所にいるので、いろいろと活用させていただいています。また来年からもよろしくお願いいたします。

○宍戸委員長

ありがとうございました。

では、最後に。長いことありがとうございました。行き届かないことがたくさんあったと思えますけれども、皆様のご協力でつつがなく議長の席を務めさせていただいて、本当にありがとうございました。また次年度も頑張ればと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

皆様ありがとうございました。お世話になりました。

それでは、お返しいたします。

○西部公民館長

委員の皆様、今期最後のご審議、誠にありがとうございました。そして、任期中は長きにわたり西部地区の公民館運営に多大なるお力添えをいただきまして、一同心より深く感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

任期満了日まで、まだ議事録のご確認や署名などもお願いすることがございますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

さて、次期も委員をお引き受けいただける方にご連絡いたします。令和6年度から7年度の2年間を任期とする委員の委嘱式が、令和6年5月2日(木)午後2時から、中央公民館6階講堂において、全ブロック合同で行われます。また、委嘱式が終了した後は、そのまま中央公民館5階へご移動いただき、続けて令和6年度第1回西部公民館運営審議会を開催する予定となっておりますので、委嘱式、運営審議会ともに、ご出席いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

ただいまお伝えした日程・会場につきましては、4月下旬頃、改めて通知をお送りいたしますので、よろしくお願いいたします。

それでは、これをもちまして令和5年度第5回西部公民館運営審議会を閉会いたします。本日の非公開資料は、郵送で送付したのものも含め、その場に置いたままご退室ください。ありがとうございました。

閉会